

## 製品安全データシート

### 1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	チューンアップ顆粒水和剤
製品コード	AK3301J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂サステイスト7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所: 04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所: 04-2003-7302)
メールアドレス	<a href="mailto:toiawase@agrokanesho.co.jp">toiawase@agrokanesho.co.jp</a>
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺虫剤)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激	区分外
	皮膚感作性	区分1
	※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」	

#### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き

警告  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

#### 【安全対策】

保護手袋を着用すること。  
粉塵等の吸入を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

#### 【応急措置】

皮膚に付いた場合、多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

#### 【保管】

該当なし

#### 【廃棄】

該当なし

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分及び含有量	
[有効成分]	
化学名又は一般名	バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

分子式(分子量)	—
CAS番号:	—
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: — 安衛法: —
濃度又は濃度範囲	10%
[その他の成分]	
化学名又は一般名	界面活性剤等
濃度又は濃度範囲	90%

#### 4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

#### 5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化方法・機材	回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	注意事項	みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取り扱う。
	安全取扱い注意事項	屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。粉塵等を吸入しないこと。眼、皮膚、衣類に付けないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

保管	保管条件	直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。 施錠して保管すること。 データなし。
	容器包装材料	

### 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策		局所排気装置を設置すること。
管理濃度		設定されていない。
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
	日本産衛学会(2009年版)	該当なし
	ACGIH(2010年版)	該当なし
保護具	呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	細粒
	色	暗褐色
	pH	データなし
比重(密度)		0.46(見かけ比重)

### 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	通常の条件下では安定。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

### 11. 有害性情報

急性毒性 経口	ラット経口LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。
経皮	ラット経皮LD50 >5000 mg/kgに基づき、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギにおいて刺激性がみられたが、ごく軽微であったことから区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギにおいて刺激性がみられたが、ごく軽微であったことから区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性: モルモットにおいて皮膚感作性がみられたことから、区分1とした。

### 12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	データが無いため分類できなかった。
水生環境慢性有害性	データが無いため分類できなかった。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 輸送上の注意**

国際規制 該当しない。  
 国内規制 輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。  
 特別安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。重量物を上積みしない。

**15. 適用法令**

農薬取締法 第20479号（株式会社エス・ディー・エス バイオテック）  
 化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） 該当なし  
 毒物及び劇物取締法 該当なし  
 労働安全衛生法 該当なし

**16. その他の情報**

**財団法人 日本中毒情報センター**

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。  
 処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

1. 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
2. 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
3. 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。